

患者さんへ

「ハンズフリー音声入力可能な救急隊情報入力アプリケーションと院内データベースを連携させた救急搬送効率化のための取り組み」に関する研究

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2020年4月～2022年8月に湘南鎌倉総合病院救急総合診療科に搬送された/される患者さま
また、対応した救急隊及び病院医療者（システム満足度に関する質問紙調査）

2. 研究目的・方法

救急搬送事例における救急隊の業務・記録内容は多く、患者要請から病院搬送までに時間を要し、現場滞在時間の遅延を起こしています。本研究ではリアルタイムかつ正確なハンズフリー音声入力をはじめとする最新の入力支援技術を搭載し、病院とのデータ連携が容易な救急隊情報入力アプリケーションを導入することで、救急隊からの病院搬送業務の効率化を目標とします。本アプリケーション導入前後における現場滞在時間ならびに患者アウトカムの変化を、既に得られている診療録の情報から検討します。また、救急隊と病院医療者のシステムへの満足度も調査します。研究期間は、院長承認後から、2023年3月までです。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、救急隊及び病院医療者については、質問紙調査に回答されなくても不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

- 1) 覚知・現着時間・主訴・バイタルサインなどの一般的な救急隊が入力する情報、モニター情報、並びに音声入力された病歴情報、搬送中の経過、処置 等
- 2) 患者アウトカム（入院期間・死亡など）、現場到着から現場出発・病院到着までの時間、病院における救急隊入電からの情報入力の時間、質問紙調査による救急隊と病院医療者のシステム満足度
- 3) 年齢、性別、病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

鎌口 清満

湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号 0467461717

研究責任者：

山上 浩 救急総合診療科・センター長

(2021年10月4日作成(第1.2版))